



2008～2009年度 国際ロータリーテーマ
Make Dreams Real
 夢をかたちに



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 櫻井弘己 ●副会長 桐本美智子 ●幹事 片野之万 ●会報委員長 今村信夫 (2008～2009年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 (株)グランドホテル神奈中2F ●事務所 平塚市紅谷町3-23 イトービル3F
- 四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

第2649回例会 2008年9月11日 グランドホテル神奈中 週報第2649号

<幹事報告>

- ◎青少年交換学生 ホストクラブカウンセラー会議開催
 日時：10/18(土) 11:00～12:00
 場所：藤沢産業センター
- ◎地区大会へのパネル提出のお願い
 目的：青少年活動を多くの人に知ってもらうため
 提出物：学生の住んでいる場所、家族構成などの情報等。
- ◎第1回情報集会のテーマは『クラブ活性化 会員増強を考える』です。10月初旬頃までに開催して頂き、10/9の例会時、文書にて発表の予定です。ご協力お願い致します。

<メイクアップ> 6名 河野・門井・白石・湯屋・
 升水一・西村会員各位

<本日のスマイル> 16名

<卓話・行事予定>

- 9月25日 フリーアナウンサー 良藤雄三様
- 10月2日→5日(日) 地区大会(移動例会)
- 9日 米山奨学生 陳 雅玲 様
- 16日 ガバナー補佐訪問
- 23日 よい音楽に親しむ会(春日野中学校)
- 30日 休会(定款による)

<市内例会変更> 現在はございません。

齋藤 靖二(さいとう やすじ)様 略歴

1939年生まれ。東北大学大学院理学研究科地学専攻博士課程中退。理学博士。専門は地質学。国立科学博物館研究員、地学第一研究室長、地学研究部長を歴任し、2004年同館定年退職。国立科学博物館名誉館員・名誉研究員。この間、国際基督教大学理学科非常勤講師を兼任。2004～2006年 日本地質学会会長。2006年～ 神奈川県立生命の星・地球博物館館長、日本学術会議連携会員。子どもたちに、自然から発見する喜びや自然の面白さを伝えたいと願っている。

卓話「自然とつきあうこと」

県立生命の星・地球博物館館長 齋藤 靖二



自然にはなんでもあって、私達はすべて自然から学んできた。ところが、自然は人間にとってかならずしも都合よくできているわけではない。自然はときに大きな災害をもたらす。しかし、災害は一瞬であって、自然の恵みは永遠であり、自然は魅力を失うことはない。私たちは自然とつきあいつつ、

未来を担う子どもたちへ、私たちの生活を支える自然の面白さ楽しさを伝えていかなければならない。

地震や火山活動の活発な日本列島は、太平洋・フィリピン海・ユーラシア・オホーツクの4つのプレートがぶつかり合う収束境界にあたっており、プレート境界が陸上にでていて世界から注目されている。なかでも神奈川西部から静岡にかけて南部フォッサマグナと呼ばれる一帯は、南から移動してきた伊豆-小笠原弧が本州に衝突し、本州側を大きく八の字型に屈曲させているユニークな多重衝突地帯として有名である。

南部フォッサマグナには、1,500万年前頃に御坂山地が、約800万年前には丹沢山地が、さらに150万年前頃には伊豆地塊が衝突して付加し、将来のいつか伊豆諸島が

のっている銭州海嶺が衝突してくる。この基盤の上に65万年前頃から箱根火山が形成され、約10万年前には富士山が誕生し、その後何度も噴火して、現在は宝永噴火300周年をむかえている。私たちが住む現在の地勢は、この基盤が氷期・間氷期の影響を受けて形成されてきた。こうした背景から地震災害が心配されるが、それは私たちの生活時間でなく、地球の営みの時間で考慮されるべきものである。2004年の中央防災会議の資料によると、この地域を襲った近年の巨大地震は元禄地震と関東地震である。それらが起こった活動期の数10年以外は200年をこえる長い静穏期が続き、現在もその中にある。地震への備えは必要であるが、壊滅的な地震は頻繁にはこないらしい。

この地をつくる火山岩もまた日本の歴史をつくってきた。上杉謙信や武田信玄の攻撃を退けた後北條氏の小田原城、豊臣秀吉が小田原征伐のときに築城した総石垣の石垣山一夜城、その堅固な石垣は箱根火山の溶岩で作られた。小田原城を攻略した徳川家康は秀吉から関八州を与えられ、太田道灌築城の小さな江戸城を全国の大名を動員して大増築を行ったが、そのときの石材は真鶴半島や伊豆半島東海岸の石切丁場から切り出された火山岩であった。何千艘もの船で運ばれたこの地の火山岩は、長く江戸時代を支え、現在に至っている。もの言わぬ石でさえ多くを語ってくれるように、自然はとにかく面白い。

<出席報告>

本日9月11日	会員数 58名	対象者 51名	出席者 42(36)名	出席率 70.59%				
前々回8月28日	会員数 58名	対象者 51名	出席者 45(39)名	出席率 76.47%	MUP 6名	計 45名	修正率 88.24%	